



Human Metabolome Technologies, Inc.

2022年6月期 決算説明資料



2022年8月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2022年6月期（前年度） 決算報告
2. 2023年6月期（今年度） 業績予想
3. 成長戦略に基づく各事業の進捗

参考資料



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2022年6月期（前年度） 決算報告
2. 2023年6月期（今年度） 業績予想
3. 成長戦略に基づく各事業の進捗

参考資料

HMT

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 2022年6月期 重点施策

HMT

利益拡大

- 新たな解析メニューの拡充・拡販により売上成長を目指す
- 生産性向上と適切なコストコントロールにより利益拡大を目指す

開発プロジェクトの推進 と 新たな事業領域の開拓

- メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進する
- ヘルスケア分野における新規事業の創出に取り組む

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

先端研究開発支援事業の受注拡大・販売管理費の削減の結果

大幅増収増益を達成

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

	2021年6月期	2022年6月期	増減額	増減率
売上高	1,124	1,223	99	8.8%
営業利益	39	191	151	385.5%
経常利益	59	253	193	325.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	267	209	360.0%
1株当たり当期純利益	9.87	45.39	35.52	359.8%

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

セグメント別実績

(単位：百万円) (表中の△は損失・百万円未満切捨て)

セグメント売上高	2021.6	2022.6	増減額
先端研究開発支援事業	1,119	1,220	101
ヘルスケア・ソリューション事業	4	2	△ 2
合計	1,124	1,223	99
セグメント費用	2021.6	2022.6	増減額
先端研究開発支援事業	978	888	△ 90
ヘルスケア・ソリューション事業	106	143	37
合計	1,085	1,032	△ 53
営業利益	2021.6	2022.6	増減額
先端研究開発支援事業	141	331	191
ヘルスケア・ソリューション事業	△ 101	△ 140	△ 39
合計	39	191	152

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

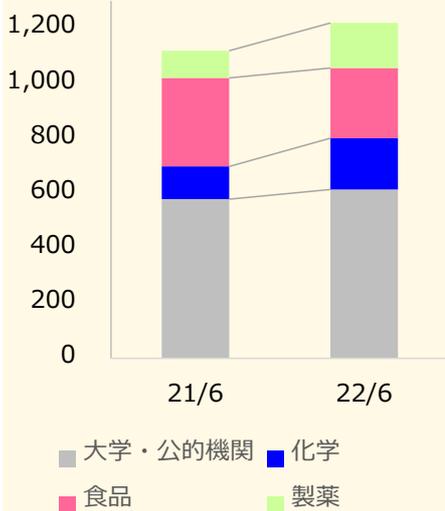
© Human Metabolome Technologies, Inc.

営業活動強化
高感度解析拡販

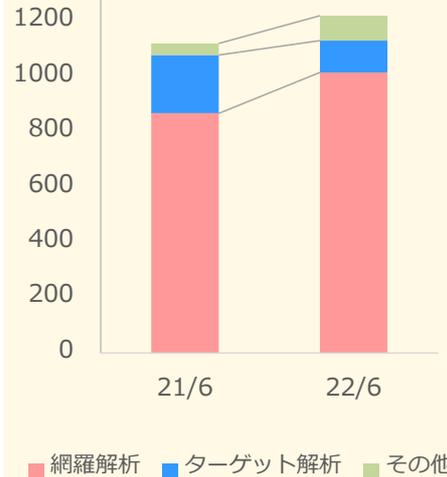
WEBを活用した営業展開（ウェビナーなど）
アカデミア・製薬・化学分野での売上が伸長
網羅解析の中でも、特に付加価値の高い高感度網羅解析
に対する需要が増加

売上+8.8% 99百万円増

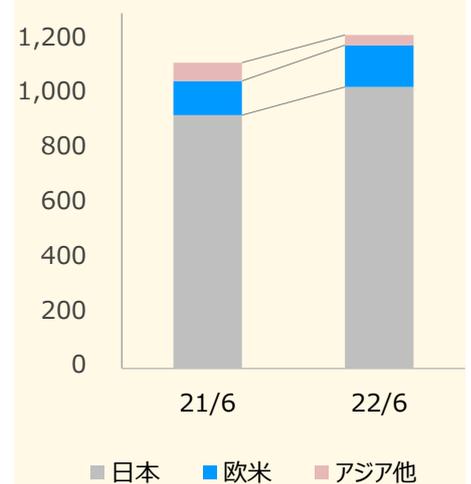
(単位：百万円) 分野別売上



受託メニュー別売上



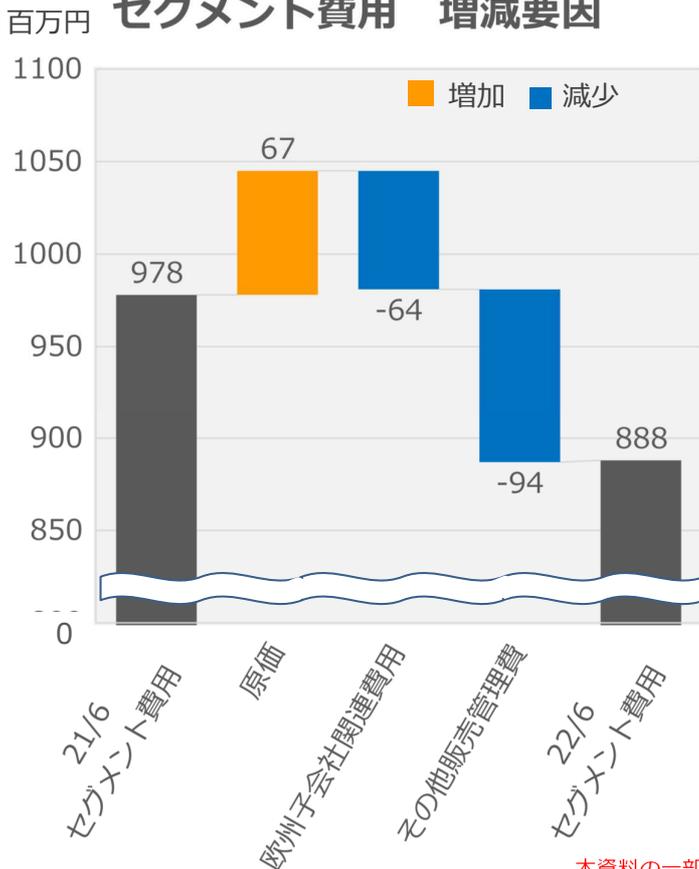
地域別売上



© Human Metabolome Technologies, Inc.

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

先端研究開発支援事業
セグメント費用 増減要因



原価増

- 最先端測定設備導入
- 提携サービス導入

欧州子会社関連費用減

- 人件費、支払報酬などが不要
- 売上は米国子会社に移管して維持

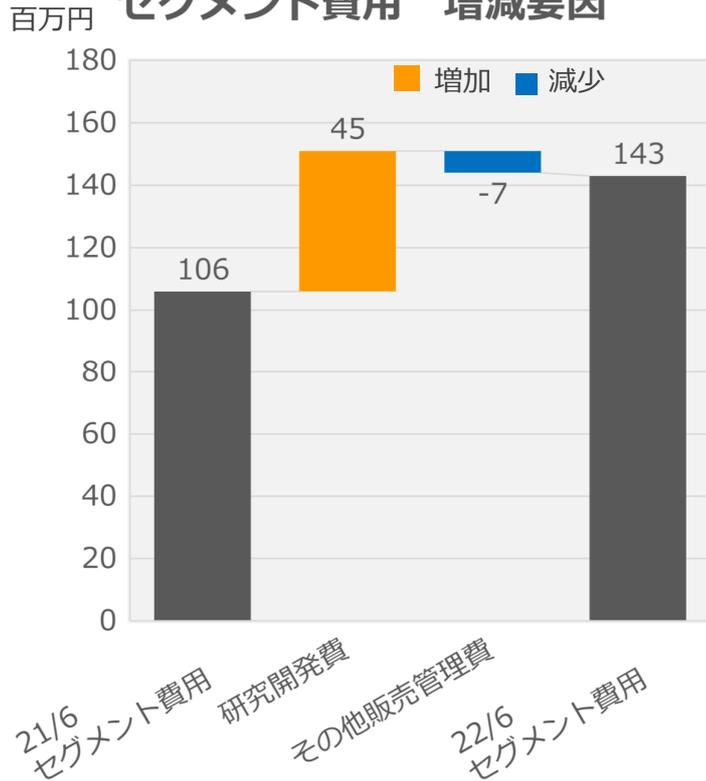
その他販売管理費減

- ヘルスケア・ソリューション事業における研究開発の人員移管
- 効率的な営業活動、業務遂行

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

ヘルスケア・ソリューション事業
セグメント費用 増減要因



研究開発費用増

- 研究開発人員の増員（一部は先端研究開発事業からの移管を含む）
- 新規共同研究の実施

その他販売管理費減

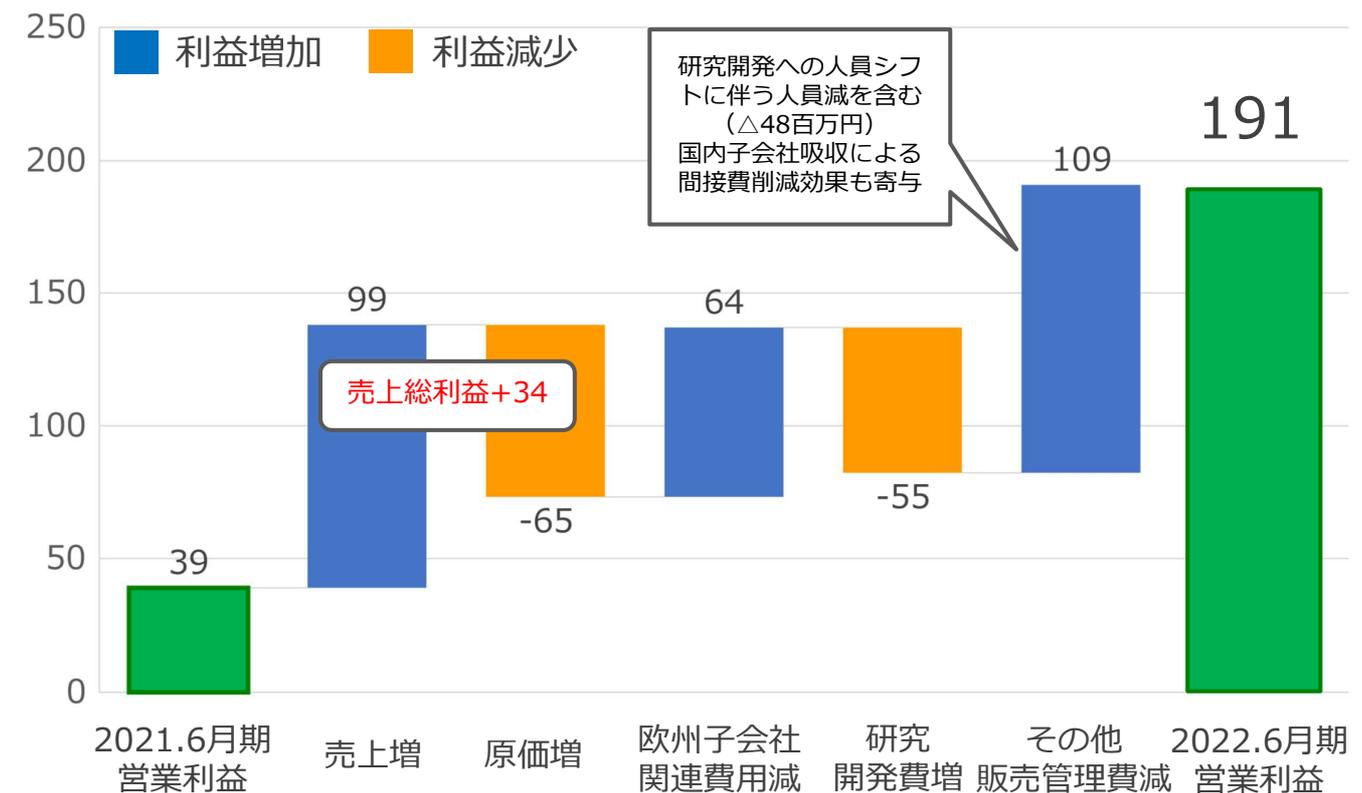
- セグメントに係る間接経費削減（子会社吸収合併による効果）

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

営業利益

営業利益 増減要因



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

目次

1. 2022年6月期（前年度） 決算報告
2. 2023年6月期（今年度） 業績予想
3. 成長戦略に基づく各事業の進捗

参考資料

HMT

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 2023年6月期 連結業績予想

HMT

研究開発の推進と継続的な利益成長を目指します

- **利益拡大(営業利益+25%)**
 - ・新たな解析メニューの拡充・拡販による売上成長
 - ・解析生産性向上等オペレーショナル・エクセレンスの向上
- **開発プロジェクトの推進と新たな事業領域の開拓**
 - ・メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進
 - ・ヘルスケア分野における新規事業の創出

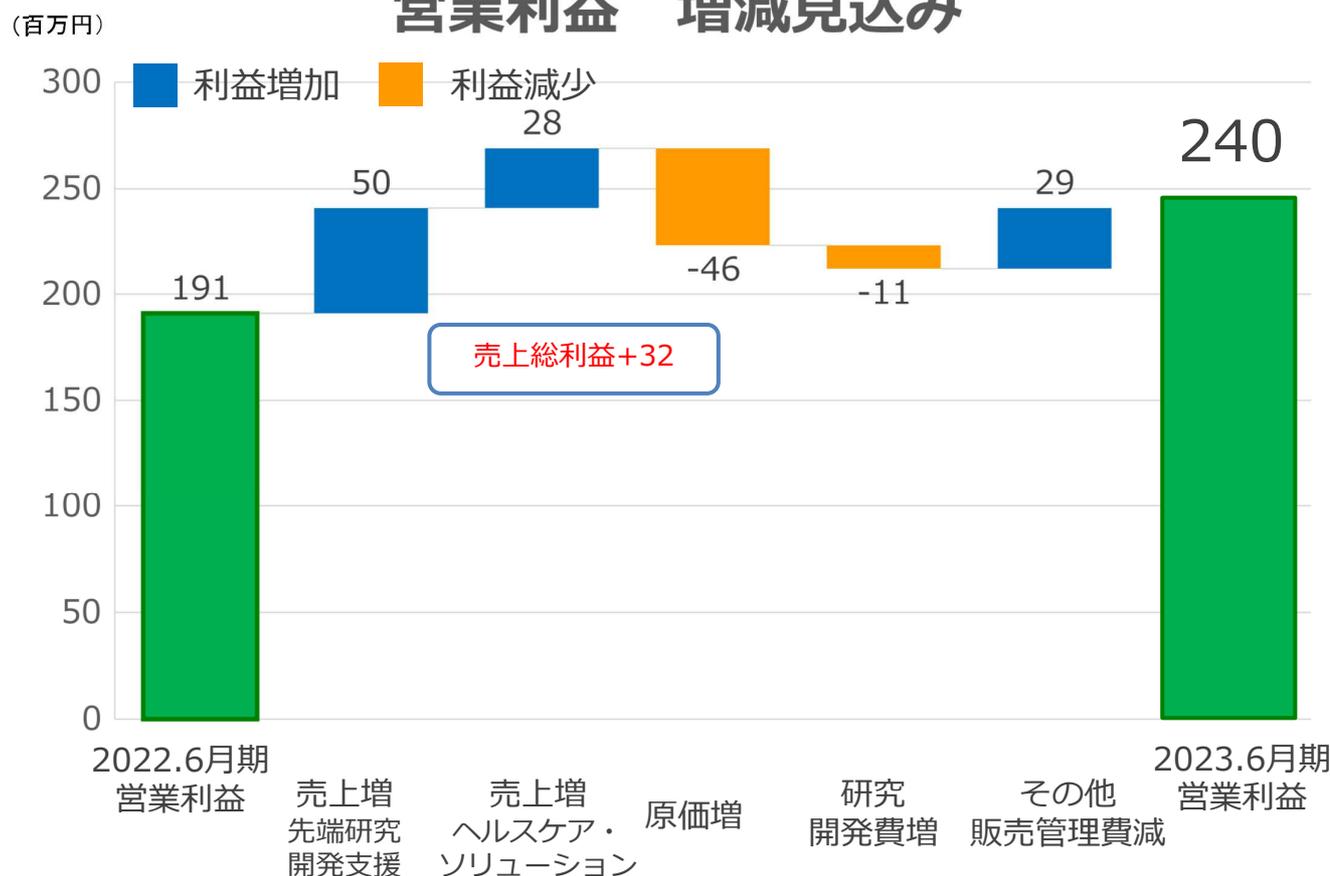
(単位：百万円)

	2023年6月期	(ご参考) 前期 2022年6月期	差額
	金額	金額	金額
売上高	1,300	1,223	+77
営業利益	240	191	+49
経常利益	260	253	+7
親会社株主に帰属する当期純利益	270	267	+3
一株当たり当期純利益	45円76銭	45円39銭	+37銭

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

営業利益 増減見込み



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

目次

1. 2021年6月期（前年度） 決算報告
2. 2022年6月期（今年度） 業績予想
3. 成長戦略に基づく各事業の進捗

参考資料

持続的に成長する組織へ

当社が目指す方向性

【ヘルスケア・ソリューション・プロバイダー】

ヘルスケア研究開発に携わる人々のベストパートナーとして、画期的なヘルスケア製品・サービスの創造に貢献する。

当社のSDGsへの取り組み



【目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう。】

当社の技術・ノウハウを提供することで産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力の向上に貢献する。



【目標3：すべての人に健康と福祉を。】

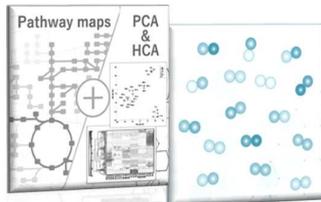
当社の研究開発支援の結果、クライアント企業及び自社の製品化・サービス化により、健康危険因子の早期警告・緩和・管理、感染症などへの予防・対処、精神保健などの改善に貢献していく。

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

基礎研究領域

先端研究開発 支援事業

メタボロミクス
(+α オミクス)
解析受託サービス



最先端研究の
ブレークスルーに貢献

ヘルスケア関連領域

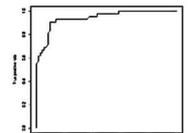
ヘルスケア・ ソリューション事業

ヘルスケア・ソリュー
ション開発サービス

インフォマティクス



機能性素材開発支援



バイオマーカー開発支援

ヘルスケア関連企業が抱える
研究課題の解決に貢献

- 未病・予防といった健康寿命延伸を目的とした研究開発
- 様々な機能性素材の開発
- 健康に寄与するソリューション開発

<キーワード> 免疫強化、メンタルヘルス、Well-being、QOL向上 etc...

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

基本戦略

基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大と
ヘルスケア・ソリューション事業の早期確立

先端研究 開発支援事業

平均年率7%以上の売上拡大を目指す

- ① 受託解析サービスメニューの**拡充**および**新規開発**
- ② 受託解析業務の**生産性向上**
- ③ メタボロミクスユーザーへの**アップセル・クロスセル**

ヘルスケア・ ソリューション 事業

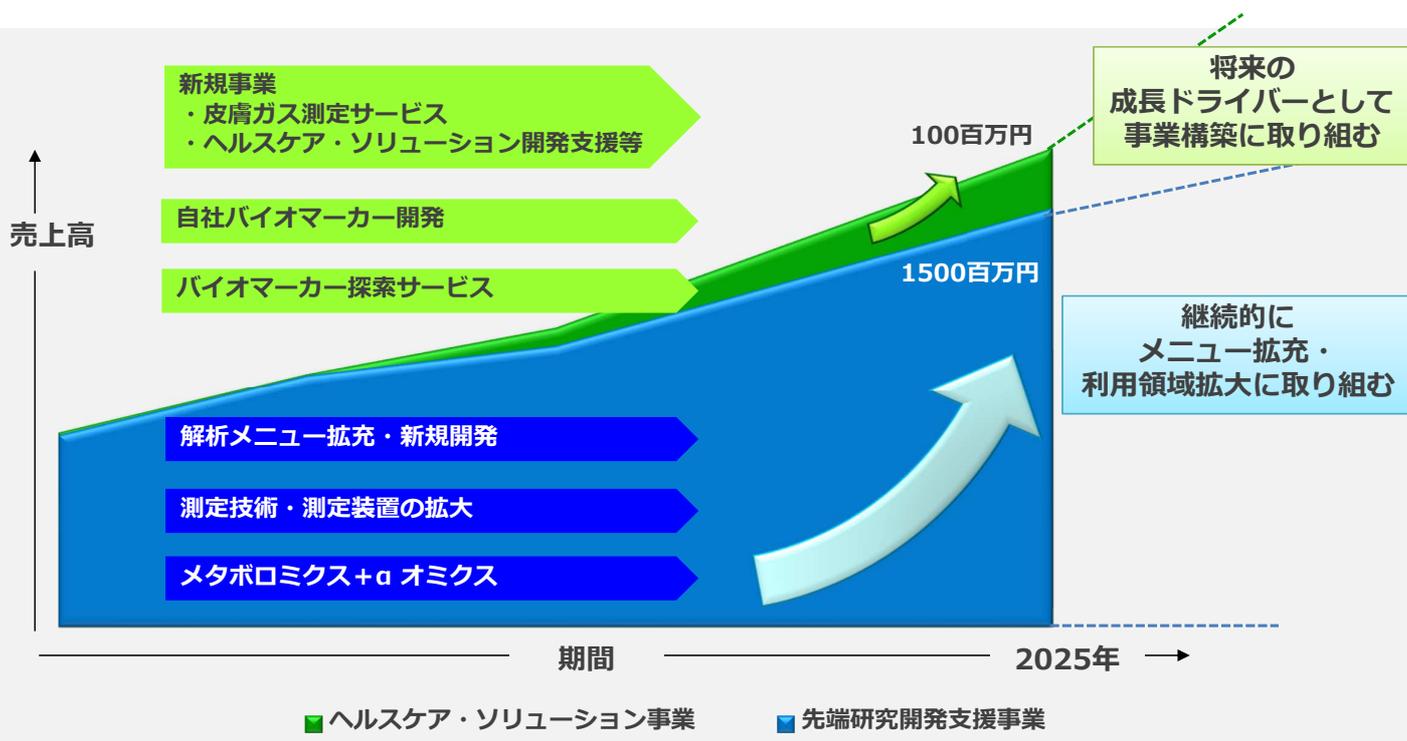
5年後を目処に持続的な売上が計上できる事業に成長させ、
セグメント利益の黒字化を目指す

- ① バイオマーカー開発サービスおよび自社開発マーカーの
早期収益化に向けた取り組み
- ② ヘルスケア・ソリューション開発事業の立ち上げ

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

基本戦略

基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大と
ヘルスケア・ソリューション事業の早期確立

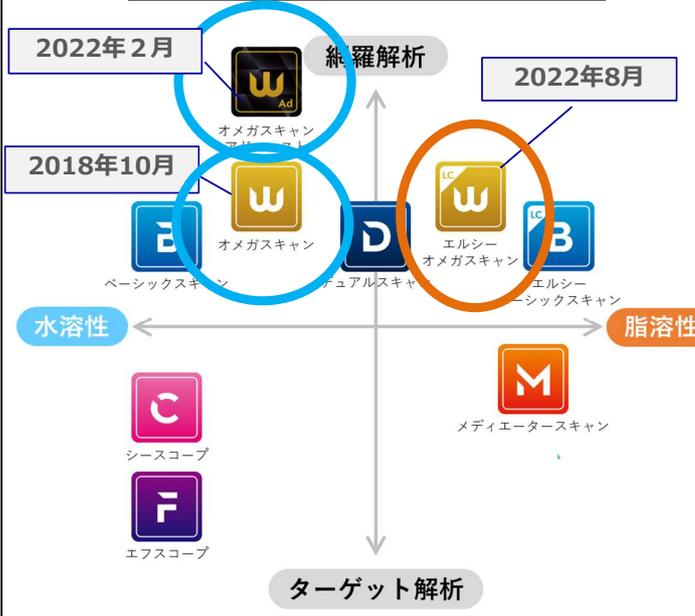


本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

高感度網羅解析メニューの拡充と新メニュー開発

高感度網羅解析メニュー (ω Scan) への期待増大 (対前期2倍を超える売上)。これを受け、解析対象物質数と解析対象範囲を拡大。

当社独自の解析サービス一覧



■ 水溶性の高感度網羅解析 **upgrade!**

【ω Scan】
当社選定の約1100種 (2022年8月に拡張) の代謝物質を解析するメニュー。
【ω Scan Advanced】
ω Scan の対象物質 (約1100種) のみならず、解析可能なあらゆる物質の情報を提供するメニュー。最も網羅性が高い。

■ 脂溶性の高感度網羅解析 **new!**

【LC-ω Scan】
脂溶性・中性代謝物質の約450種を解析するメニュー。
従来メニュー (LC-Basic Scan) と比べ、**検出物質数が1.5倍~2倍**を実現。

高感度網羅解析のヘルスケア分野での拡大

今後もメニュー拡充などを行い、お客様の先端研究開発支援に注力

高感度メタボローム解析プラットフォームの確立



- ヘルスケア分野での更なるニーズ拡大を図る
- ・ ヒト試験
 - ・ 食品機能性成分の広範囲なスクリーニング
 - ・ 機能性関与成分の作用機序解明
 - ・ バイオマーカー探索 etc



マルチバイオマーカー探索支援「メタボロインデックス®」

■ マルチバイオマーカー探索サービス開始（2021年12月）

— **メタボロミクスと機械学習を組み合わせ**て解析を行うことで、複数のバイオマーカー（**マルチバイオマーカー**）を探索し、従来のシングルマーカーに比較して高精度な判別精度となるバイオマーカーを見出すことが可能に。

— 論文の査読において、機械学習を用いたメタボロミクスマルチマーカー探索ニーズの高まりに対応。

- ・ **医学分野**における臨床研究等
- ・ **ヘルスケア分野**での健康寿命の延伸等を目的とした（未病・予防）健康指標開発等

— 本ソリューションの提供を通じて、研究者の幅広い研究開発を支援することを旨とする。

— 今後も**オミクスとバイオインフォマティクス**を駆使した**バイオマーカー探索サービスの拡充**を検討。



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

21

自社開発マーカーの社会実装に向けて

メンタルヘルス

- 精神状態の評価指標の開発に向け、マルチマーカー（複数因子）の研究に取り組む。
- 予防・高ストレス者のモニタリングでの利用を想定し、社会実装の検討を継続。
- 2022年7月、九州大学と共同研究を開始。
働く人のメンタルヘルス不調の血液等を用いたモニタリングシステムの開発。

軽度認知障害等

- 共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学」（弘前大学）での研究開発。
- マーカーの検証を継続中。

3 すべての人に健康と福祉を



当社のSDGsの達成目標の一つである【目標3：すべての人に健康と福祉を。】の取り組みとして、**メンタルヘルスや認知症**といった**社会課題に貢献すること**を目指して研究開発を進めてまいります。



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

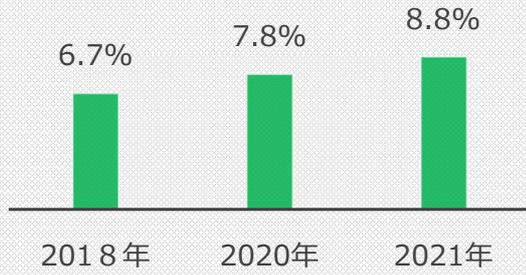
© Human Metabolome Technologies, Inc.

22

働く人の心の健康を維持する仕組みづくり



過去1年間にメンタルヘルス不調により連続1か月以上休業した労働者がいた事業所割合の推移



厚生労働省公表「労働安全衛生調査」より、当社作成



2022年7月13日

HMT、九州大学と共同研究を開始
メンタルヘルス不調による休職・復職支援のための
精神状態評価指標の社会実証を目指す

～九州大学との連携～

- ・働く人のメンタルヘルス不調の血液等を用いたモニタリングシステム開発
- ・スムーズな職場復帰支援
- ・再発リスクの低減 etc.

メンタルヘルス不調者の増加は
企業においても大きな課題に

働きやすい社会環境を構築し、
働く人のQOL (Quality of Life)
向上に寄与することにより、
社会課題の解決に貢献することを目指す

個人としてのメンタルヘルスカ、
働く組織におけるメンタルヘルスカ
→企業においても重要視されている

連携スケジュール



本資料の一部またはすべての複製・転載・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

休職・復職支援のための精神評価モデルの開発



厚生労働省が推奨するメンタルヘルス「4つのケア」



厚生労働省資料「労働者の心の健康の保持増進のための指針」より、当社作成

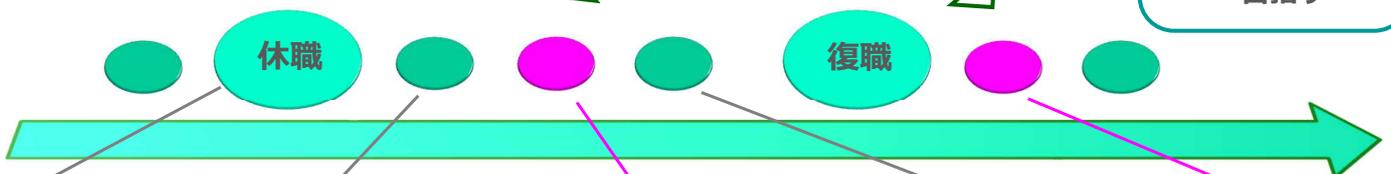
職場復帰の流れ



九州大学マーカー
HMTマーカー
&
質問紙等



スムーズな
職場復帰を支援
社会課題の解決に
貢献すること
を目指す



<第1ステップ>
病気休業開始、
休業中のケア

<第2ステップ>
主治医による職場
復帰可能の判断

<第3ステップ>
職場復帰の可否の
判断、職場復帰支
援プランの作成

<第4ステップ>
最終的な職場復帰
の決定

<第5ステップ>
職場復帰後のフォ
ローアップ

厚生労働省資料「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」より、当社作成
本資料の一部またはすべての複製・転載・再配布は、お断りいたします。

皮膚ガス測定サービスの導入

■ AIREX社のヒト皮膚ガス測定サービスをヘルスケア領域において独占的に提供

皮膚ガス

皮膚から放散される揮発性の代謝物質が含まれている**体におい**として認知される生体ガス

全く痛みが伴わない非侵襲に生体情報を入手することが可能

身体的・生理的状態・生活環境等で変化



PFS法※により皮膚ガスを捕集し測定

※PFS (Passive Flux Sampler) 法
「PFS法」は東海大学理学部関根嘉香教授が開発した皮膚から発生するにおい成分を直接採取する方法です。小型でシーンを選ばずに電源も必要としない皮膚ガス採取方法であり、世界的に見ても本法以外にありません。

<想定される利用領域>

香料・化粧品開発企業

➢ スメルケア製品開発・改良等

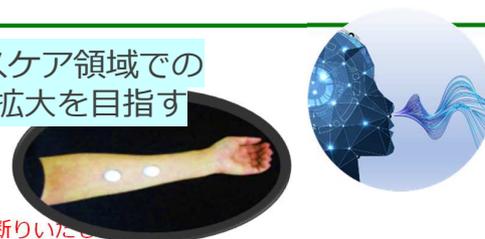
機能性表示食品開発企業

➢ ヒト試験での有効性検証

メディカルヘルスケア企業

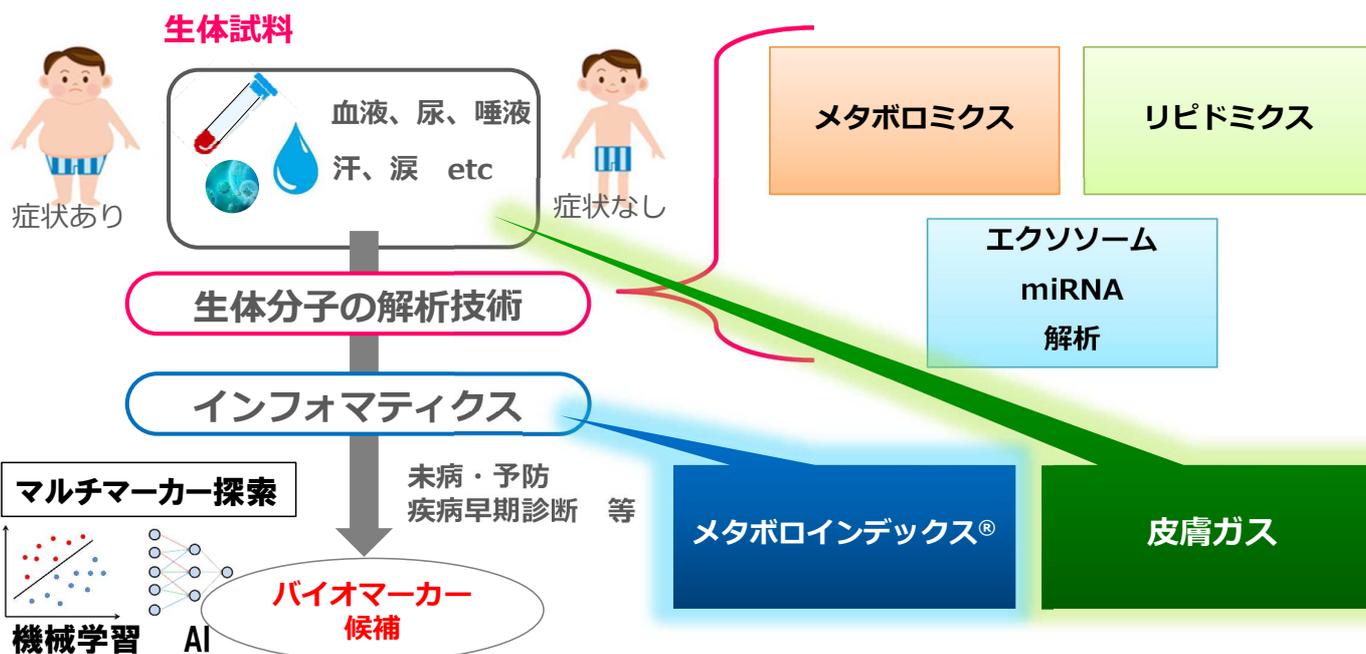
➢ 未病・健康状態の指標となるバイオマーカー開発
➢ ストレス、疲労などの指標として、メンタルヘルス分野への応用

ヘルスケア領域での利用拡大を目指す



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

バイオマーカー開発支援

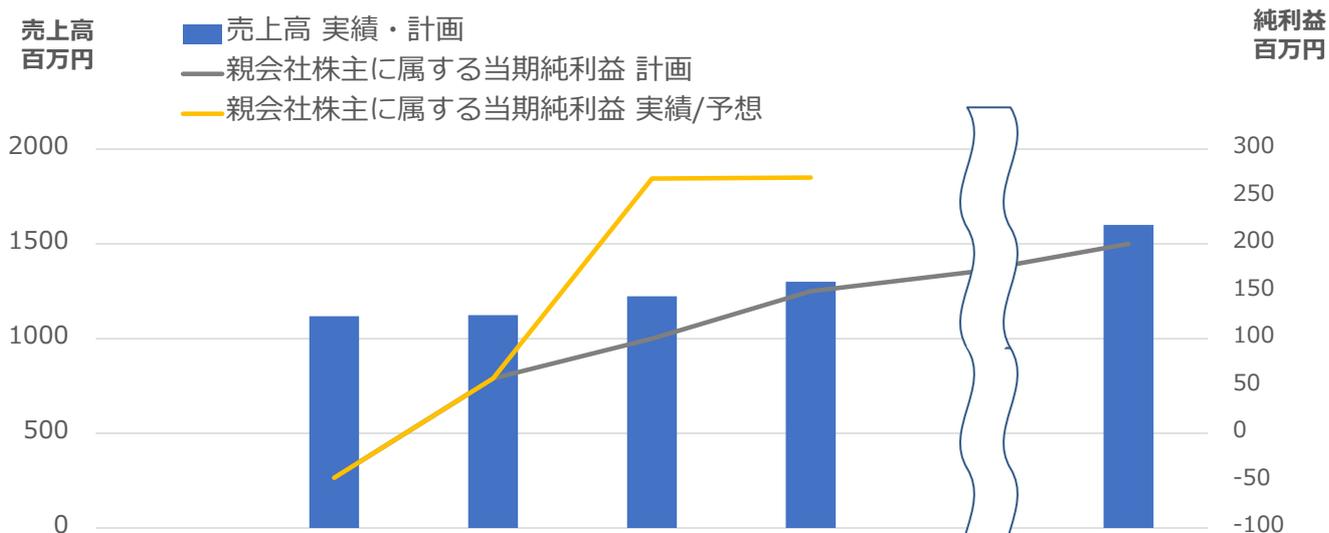


非侵襲検査技術 (リキッドバイオプシー※含む) への応用

※侵襲性の少ない液性検体を用いた検査、解析技術。
リキッドバイオプシーの世界市場規模は、2022年には約2050億円、年平均成長率23%とも言われている。
(AMED「医療機器開発のあり方に関する検討委員会」(2018年3月)の検討結果資料より当社試算(1ドル100円換算))

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

成長計画に対する進捗



		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2025年度
売上高	計画*1	-	-	1,200	-	1,600
	実績/予想	1,118	1,124	1,223	1,300	-
親会社株主に属する当期純利益	計画*1	-	-	100	-	200
	実績/予想	△47	58	267	270	-

*1:2021年11月開示資料「事業計画及び成長可能性に関する事項」
 本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
 © Human Metabolome Technologies, Inc.

当社の企業理念・パーパス

未来の子供たちのために、

最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を

活用した研究開発により、

人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

参考資料

HMT

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 会社概要

HMT



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,481百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）
大畑 恭宏（取締役）

創業者：

富田 勝 慶應義塾大学先端生命科学研究所所長

曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：メタボロミクス事業

バイオマーカー事業

売上高（直近）：1,223百万円

従業員数（連結）：65名（博士：14名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

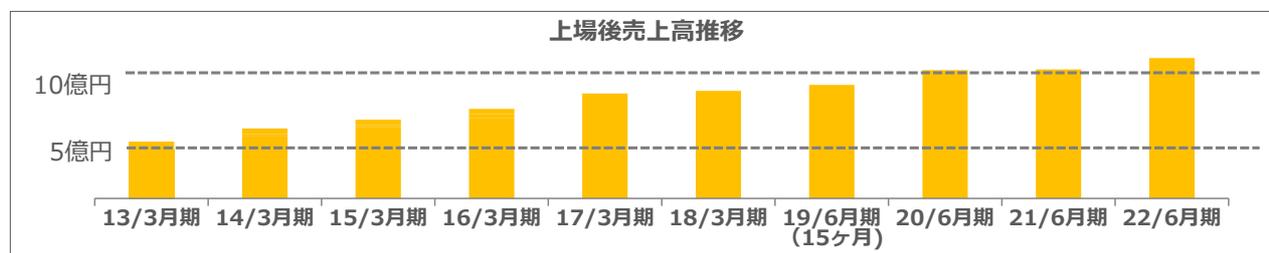
シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ アメリカボストン

（2022年6月現在）

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

- 2001 ● 慶応大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶応義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
- 上場（東証マザーズ（現グロース市場）：6090）
- 2013 ● うつ病バイオマーカー基本特許登録（日本）
米国（2015年）、中国（2015年）、欧州（2019年）
- 2015 ● 第9回 日本バイオベンチャー大賞受賞
- PEA測定に関する特許登録（日本）
- 2016 ● HMTバイオメディカル株式会社設立（2021年HMTと統合）
- エムスリー株式会社との資本業務提携
- 2018 ● 大うつ病性障害バイオマーカーに関する論文掲載
- 2019 ● 弘前大学寄付講座「メタボロミクスイノベーション学」開設
- 軽度認知障害バイオマーカー特許出願（日本）



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.